

Infosys と Red Hat OpenShift AI で モダナイズ

[Infosys Live Enterprise Application Development Platform](#) は、アプリケーションのモダナイゼーションおよび開発のプロセスを単純化し、加速することを目的としています。さまざまなビジネス課題に対処できるように、モジュール式に設計されている 5 つの大まかなパターンに重点を置いています。

クラウドネイティブ開発

回復力とパフォーマンスに優れたアプリケーションの構築を支援

クラウドのモダナイゼーション

クラウド上のアプリケーションの移行とモダナイゼーションを支援

データベースのモダナイゼーション

オープンソースおよびクラウドのデータベースを導入するためのテンプレート

レガシーのモダナイゼーション

従来のアプリケーションをリホスティングまたは再設計する方法

アプリケーションのメンテナンス

アプリケーションの分析、アップグレード、モダナイズ、メンテナンスのためのツール

アプリケーションのモダナイゼーションにおける課題

アプリケーションのモダナイゼーションはますます複雑になっています。組織は、ドキュメントがなく老朽化しているかなり昔のシステム、新しいものの依然としてモノリシックなアプリケーションにおける大きな技術的負債、そして、アジャイルでクラウドネイティブなアーキテクチャに対するニーズの高まりに直面しています。それに加えて多くの組織は、ワークフローの断片化、従来のテクノロジーと最新のテクノロジーに関する開発者の専門知識の不足、コストの上昇に悩まされており、これらすべてが複雑さを高める要因となっています。そこで、労力の削減とモダナイゼーションのタイムラインの短縮によって価値実現までの時間を加速する複数のソリューションを併用することが必要になります。ワークフローを自動化することで、複雑なプロセスを効率化し、専門的なスキルへの依存を最小限に抑え、運用コストを削減する必要があります。

[Infosys](#) と Red Hat は、プラットフォームベースの自動化、オープンソースのイノベーション、人工知能 (AI) の統合を組み合わせ合わせたコラボレーティブなアプローチを通じて、これらの問題に対処します。[Infosys Live Enterprise Application Development Platform](#) と Red Hat® OpenShift® AI を組み合わせることで、アプリケーションの開発およびモダナイゼーションを単純化し、加速するためのツールが得られます。

Infosys と Red Hat のコラボレーションの特長



図 1. テクノロジースタックとライフサイクルステージをすべてカバーするプラットフォーム

このコラボレーションでは、モジュール式プラットフォームと OpenShift AI の可搬性およびオープンソース基盤を組み合わせることで、モダナイゼーションの取り組みが最適化され、どこでも実行することが可能になるため、総所有コスト (TCO) が削減されます。ソリューションを組み合わせることで、保護対策、コンプライアンス、運用効率を維持しながら、モダナイゼーションを単純化し、進化する要件に適應できるようになります。

プラットフォームと OpenShift AI を組み合わせることで得られるメリット:

効率

開発とテストの労力を最大 40% 削減¹

アジリティ

価値実現までの時間を最大 25% 短縮¹

品質

技術的負債を削減し、ベストプラクティスを遵守

シンプルさ

基盤となるテクノロジーの複雑さを抽象化

ガバナンス

予測可能性を向上させる、データに基づく洞察

1 Infosys の顧客データに基づく

OpenShift AI は、オンプレミスでも複数のクラウド環境間でも、必要に応じてプロプライエタリーデータを保護しながら AI モデルを効率的かつポータブルに実行できるようにすることで、これらのモジュール式の機能を強化します。OpenShift AI は、ハイブリッドクラウドベースの大規模言語モデルを実行できるだけでなく、規制上の要件やオンプレミスの要件を満たす軽量のタスク特化型モデルの実行にも優れています。そのモジュール式のオープンなアーキテクチャは、開発、保護、およびデプロイのプロセスを一元的なプラットフォームに統合することでモダナイゼーションのワークフローを単純化するため、開発者と組織の労力、コスト、技術的な複雑性が軽減されます。

プラットフォームがサポートする主要なモダナイゼーションのパターン

- ▶ **クラウドネイティブ開発:** 自動化されたアプリケーション・プログラミング・インタフェース (API)、マイクロサービス、バッチおよびユーザー・インタフェース (UI) アプリケーションの開発、テスト、および DevSecOps のパターン。AI 拡張機能には、コードの生成、コードの自動補完、ユニットテストケースの生成などがあります。
- ▶ **クラウドのモダナイゼーション:** インフラストラクチャのプロビジョニング、クラウドの評価と配置、クラウドへのアプリケーションとデータの移行、およびテクノロジーのアップグレードと移行のパターン。AI 拡張機能には、回帰テストケースの生成、コードの変換、アーキテクチャからコードへの変換、アプリケーションのコンテナ化などがあります。
- ▶ **データベースのモダナイゼーション:** データベースの検出と評価、プロプライエタリーのリレーショナル・データベース管理システム (RDBMS) からオープンソースまたはクラウドの RDBMS への移行、RDBMS から NoSQL への移行、およびデータのプライバシーと暗号化のパターン。AI 拡張機能には、DB コードの移行、DB オブジェクトのドキュメント化、合成データの生成などがあります。
- ▶ **メインフレームのモダナイゼーション:** メインフレームの評価、ブループリントとリバースエンジニアリング、クラウドへの再ホスティング、ルールの外部化、API 化、DevSecOps、およびレガシーからのリアルタイムデータのオフロードのパターン。AI 拡張機能には、コードの要約とルールの抽出、レガシーコードのテストケースの生成などがあります。
- ▶ **アプリケーションのメンテナンス:** アプリケーションのエバグリーニング、技術的負債の削減、アプリケーションのセキュリティ、および優れたソフトウェア提供のパターン。AI 拡張機能には、コードの要約とルールの抽出、コードの自動補完、ユニットテストケースと回帰テストケースの生成、および技術的負債の修復などがあります。

詳細については Red Hat の営業担当者にお問い合わせください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1 800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1 800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
X twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat